

Z会東大進学教室

中3英語

中3東大英語



# 1章 不定詞

---

## 要点

### ■ 確認問題 1

#### 解答

- (1) 教えることは二度学ぶことだ。
- (2) 私はあなたにお願いがあるのですが。
- (3) その話題についての本を探すのは大変だ。
- (4) 彼女は彼のことを忘れるのが難しいとわかった。
- (5) ここにはたくさんのボタンがある。私はどれから始めてよいのか分からない。

### ■ 確認問題 2

#### 解答

- (1) これは東京で訪れる場所についての冊子です。
- (2) 私はすべきことがいくつもある。
- (3) 大学の間に職業について考える十分な時間があると思います。
- (4) 外国映画に最初に出演した日本人は誰ですか。

### ■ 確認問題 3

#### 解答

- (1) パイロットになるためには良い視力が必要である。
- (2) 誤解を生まないように明確に説明してください。
- (3) 私たちは試合の結果を聞いてがっかりした。
- (4) 私は仕事を通じてロイをよく知るようになった。
- (5) 私たちは北へ運転したが、結局間違った方向だと分かった。

### ■ 確認問題 4

#### 解答

- (1) 君は活力を欠いているようだ。
- (2) あなたたちはお互いにどうやって知り合ったのですか。
- (3) 私は偶然エレベーターの中でいここに会った。
- (4) もし私にデザートをおごってほしいのなら、一つ選びなさい。
- (5) 先生は私たちに黒板を見るように言い、本を見ないように言った。

■ 確認問題5

解答

- (1) 私は規則に縛られるのがいやだ。
- (2) 損傷を受けた車は修理のために持っていかれた。
- (3) 彼はその試合でケガをしたと言われている。
- (4) キョウコは若い時に海外に行って幸運だった。

■ 確認問題6

解答

- (1) 成長しながら両親を尊敬することは子どもにとって重要だ。
- (2) これは私の夢が実現する機会かもしれない。
- (3) あなたは聴衆が聞こえるように十分大きな声で話す必要がある。

■ 確認問題7

解答

- ①(1) Tom made me do the job.
- (2) Let me help you.
- (3) I felt something touch my back.
- ②(4) Chris was seen to cross the street by me.
- (5) I was made to wait at the gate by the guard.

## 問題

### 【1】

#### 解答

- (1) stolen
- (2) clean
- (3) to bring
- (4) play
- (5) called
- (6) to do
- (7) developed
- (8) trying
- (9) heard
- (10) to enter
- (11) burning
- (12) find

### 【2】

#### 解答

- (1) her father made her stay home
- (2) I'll have Andy play
- (3) Let me take a look.
- (4) I'll never let you say that again.
- (5) Did you see him catch the ball?
- (6) If you hear her sing
- (7) I had Ms. Green help me write a letter in English.
- (8) My sister helped me find the book.

#### 解説

- (1) 「家にいること」は出掛けたがっている彼女には「望むこと」ではないので make を使う。let が不要。
- (2) S V O C の C は原形不定詞なので to は不要。
- (3) 「見ること」は目的語 (me) が「望むこと」なので make は使わない。
- (4) 「言わせない」ということは言いたがっている相手に言わせないことになるので let を使う。make が不要。
- (5) 知覚動詞 + 目的語 + 原形不定詞になるので目的格の him を使う。he が不要。
- (6) (5) と同じ理由で主格の she は使えない。
- (7) have (使役動詞) + O + 動詞の原形「O に do してもらおう [させる]」helped が不要。
- (8) 日本語では「探す」と言っても英語では「見つける」のを手伝うと言う。look for が不要。

### 【3】

#### 解答

- (1) It was wrong of Andy to ride his bicycle across Mr. Moore's garden.
- (2) It was greedy of you to take the whole cake by yourself.
- (3) It was careless of you to drop all those glasses.
- (4) It isn't necessary for you to have all these textbooks at the start of your course.

#### 解説

①「形式主語 it」と「意味上の主語」を用いる以下の2つの表現をしっかりと区別しよう。

- It is X **for** A to 動詞の原形. 「A が…するのはXだ」

[= **For** A to 動詞の原形 is X.]

\* X は不定詞が示す「行為」や「状態」に対する評価を表す。

- It is X **of** A to 動詞の原形. 「…するなんて A はXだ」

[= A is X to 動詞の原形.]

\* X は A の「性格」や「人柄」に対する評価を表す。

②なお、例)における「形式目的語 it」を用いた表現にも注意しよう。

例) She found it difficult to say good-bye to them.

「彼女は彼らにサヨナラを言うのが辛いとわかった。」

- (1) 「ムーアさんの庭を自転車で通り抜けるなんて、アンディーは間違っていた。」

It is X **of** A to 動詞の原形 「…するなんて A はXだ」

- (2) 「ひとりでそのケーキをまるごと取るなんて、君は食い意地がはっていた。」

It is X **of** A to 動詞の原形 「…するなんて A はXだ」

\*greedy: 「どん欲な・食い意地のはった」

- (3) 「あのグラスを全部落とすとは、君は不注意だった。」

It is X **of** A to 動詞の原形 「…するなんて A はXだ」

- (4) 「あなた方が講座の開始時にこれらの教科書をすべて揃え(てい)る必要はない。」

It is X **for** A to 動詞の原形 「A が…するのはXだ」

don't need to 動詞の原形: 「…する必要はない」 [= need not 動詞の原形]

### 【4】

#### 解答

- (1) is considered to be completed
- (2) appears to be recovering
- (3) are believed to have escaped
- (4) was seen to enter
- (5) got my brother to attend
- (6) to see the actor appear; not stay
- (7) to make me believe; to give [of giving]
- (8) was made to repeat

**解説**

- (1) 「修理工事はその橋で続いている。作業は来月までに完成されるものと見なされている。」
- (2) 「最初はとても重い病気と思われたが、今彼女は回復に向かっている〔回復しつつある〕様子だ。」
- (3) 「10名を超える囚人が昨夜、脱獄に成功した。その男たちは割れた窓から逃げたと考えられている。」
- (4) 「その少年はその建物の中に入るのを警官に見られた。」
- (5) 「私は自分の代わりに、兄に昨日のパーティーに出席してもらった。」  
→ get O to 動詞の原形「Oに…してもらう」〔= have O 動詞の原形〕
- (6) 「明日の朝その俳優がテレビに出るのを見たいのなら、夜更かしはしない方がいいよ。」
- (7) 「彼は、これ以上私に迷惑をかけるつもりはないのだということを、私に信じさせようとした。」
- (8) 「ジムは教師に、そのフレーズを3回反復させられた。」

**【5】**

**解答**

- (1) arranged for a taxi to come
- (2) for passengers to carry their baggage on
- (3) (In order) for the diet to work properly
- (4) is to beat his rivals and to win
- (5) it was to be troublesome

**解説**

- (1) arrange for A to 動詞の原形「Aが…するよう手配する」  
類例 wait for A to 動詞の原形「Aが…するのを待つ」
- (2) 名詞 to 動詞の原形「…するための〔すべき／する〕名詞」  
↑  
名詞 for A to 動詞の原形「Aが…するための〔すべき／する〕名詞」  
↑

不定詞の形容詞用法においても、for A のかたちで「意味上の主語」を示すことができる。またこの場合は、不定詞の末尾の前置詞 on を忘れてはいけない。

carry their baggage on carts 「カートに乗せて荷物を運ぶ」

→ carts to carry their baggage on 「荷物を乗せて運ぶためのカート」

- (3) S V … (in order, so as) to 動詞の原形「…するために」  
↑  
S V … (in order) for A to 動詞の原形「Aが…するために〔できるように〕」  
↑

不定詞の副詞的用法（「目的」）においても、for A のかたちで「意味上の主語」を示すことができる。ただし、so as for A to do の形にはしない。

- (5) be to 動詞の原形 「…する運命である」 <運命>

**[6]**

**解答**

- (1) The table isn't big enough for all of us to sit around.  
(2) The police were patrolling warning everyone to close the windows and stay inside.  
[The police were patrolling warning everyone to stay inside with their windows closed.]  
(3) Mother reminded me not to forget to brush my teeth before going to bed.  
(4) I'm glad to have helped you when you needed my help.  
(5) The earth is said to be shrinking by ten meters each year.  
[=It is said that the earth is shrinking by ten meters each year.]  
(6) The Prime Minister is to leave for Hokkaido next month, where [and there] he is to look around local junior high schools.  
(7) She tried not to help the student (to) solve the problem.  
(8) I happened to see Tom enter the restaurant.  
(9) You need to get your parents to sign this paper.  
[You need to have your parents sign this paper.]  
[You need to get [have] this paper signed by your parents.]  
(10) To hear him sing, you would [will] take him for a professional singer.

**解説**

- (1) sit around a table : 「テーブルを囲む」  
(2) warn O to 動詞の原形 : 「O に…するよう警告 [注意] する」  
with O 過去分詞 : 「O が…された状態で」, 「付帯状況」を表す with.  
cf. with O …ing : 「O が…している状態で」  
(3) { remind O to 動詞の原形 「O に…するよう念を押す [思い出させる]」  
    { remind O not to 動詞の原形 「O に…しないよう念を押す」  
文意から不定詞部分が否定的な内容になるので、不定詞の否定形 <not to 動詞の原形> を用いる。  
(4) { be glad to 動詞の原形 「…して [できて] うれしい」  
    { be glad to have 過去分詞 「…した [できた] のでうれしい」  
文意から不定詞部分が時間的に先に生じた内容になるので、不定詞の完了形 <to have 過去分詞> を用いる。  
不定詞の副詞用法 (「原因・理由」) である。おもに be glad, be surprised, be disappointed など、感情を表す表現とともに用いられる。  
(5) { be said to 動詞の原形 : 「…すると言われている [するそうだ]」  
    { be said to be …ing : 「～していると言われている [しているそうだ]」  
文意から不定詞部分が進行的な内容になるので、不定詞の進行形 <to be …ing> を用いる。  
(6) be to 動詞の原形 「…することになっている」 <予定>

- (7) { try to 動詞の原形：「…しようとする〔努める〕」  
 { try not to 動詞の原形：「…しないようにする〔努める〕」

文意から不定詞部分が否定的な内容になるので、不定詞の否定形<not to 動詞の原形>を用いる。

help O (to) 動詞の原形：「Oが…するのを手伝う」

- (8) [=It happened that I saw Tom enter the restaurant.]

→ happen to 動詞の原形：「たまたま…する；偶然…である」

see O 動詞の原形：「Oが…するのを見る」

- (9) need to 動詞の原形：「…する必要がある」

get O to 動詞の原形：「Oに…してもらう」

have O 動詞の原形：「Oに…してもらう」

<O>と<(to) 動詞の原形>の間には<Oが…する>という関係がある。

○ get [have] O 過去分詞：「Oを…してもらう」

<O>と<過去分詞>の間には<Oが…される>という関係がある。

- (10) to 動詞の原形「もし…すれば」

不定詞の副詞的用法（条件）である。

帰結節は仮定法過去（would take）にすることが多いが直説法現在（will take）でもよい。

## 【7】

### 解答

初めて日本に来たとき、20代半ばの独身の日本人男性や女性が結婚するまで家族と同居するのは少しも珍しいことではないと知って、私はとても驚いた。東京でアパートの一室を借りることがどんなにお金がかかるかを考えれば、このことは理解できる。しかし私の日本人の友人の何人かが、職場に持ってくる自分の弁当を作ることをせず、母親が彼らのために作っていると知ったときには、私は少々ショックを受けた。

## 【8】

### 解答

- (1) 物質世界を理解するために、自然科学を知ること。  
 (2) 人ははっきりと話したり、書いたりすることができないと、明確に考えることができないから。

### 全訳

アメリカの大学教育の目的は何だろうか。まず、物質世界を理解するために自然科学の知識をもつことだ。ある側面では、日本の高校は、アメリカの高校や大学よりもこの点で優れている。第2に、経済や政治のしくみを知るために、経済、政治の知識をもつことだ。アメリカ人女性は、国政同様、地方政治にも身近に興味をもっている。第3に、より良い商品を作ることによってではなく、弾圧的な政府に民主主義の原則と人権を尊重させようとすることによって、どのようにこの世界を発展させるかを習得することだ。第4に、論理的に考え、



理性の抑制の下で感情をもつために、十分な哲学を知ることだ。最後に、書いたり話したりする重要な技術を習得することだ。人ははっきり話したり書いたりすることが出来ないと、明確に考えることができない。

## リスニング演習

### 解答

Question 1 B

Question 2 D

Question 3 C

Question 4 C

Question 5 B

### Script

#### CD 1

Alex : Hello.

Michele : Alex? It's me, Michele.

Alex : Michele? What's wrong?

Michele : Sorry to call so late, but I'm wondering if Sara is staying there tonight.

Alex : No, she isn't. Hasn't she come home yet?

Michele : No. She said she'd be home by ten tonight.

Alex : So didn't she even call home? It's almost eleven. Does she have a cell phone with her?

Michele : No, she doesn't.

Alex : Did you call Jeff? I hear your girl is going out with him almost every day.

Michele : I've already called him, and he said he didn't see my daughter tonight.

Alex : Is there anything I can do to help?

Michele : Will you ask your daughter about Sara if you don't mind?

Alex : No problem. She is in the bath now, but I'll ask her, hold on a second.

Michele : All right, I'll wait. Oh, wait. Sara! She's back! Sara, where have you been until this time? Alex, thanks for your time. I'll call you tomorrow. I'm going to give my daughter a good talking-to.

Question 1 Who is Sara?

Question 2 Why is Michele worried?

Question 3 About what time is it in the conversation?

Question 4 What is Alex's daughter doing during the conversation?

Question 5 What happens at the end of the conversation?

### 全訳

アレックス：もしもし。

ミシェル：アレックス？わたし、ミシェル。

アレックス：ミシェル？どうしたの？

ミシェル：こんな遅くに電話してごめんなさい。サラが今晚そちらに何ってないかと思って。

アレックス：いいや、来ていないよ。まだ家に帰ってないのかい？

ミシェル : そうなの。今晚は10時までに帰るって言ってたんだけど。  
アレックス : それで、家に電話もなし？ もう11時近くじゃないか。携帯電話は持っているの？  
ミシェル : 持ってないわ。  
アレックス : ジェフには電話した？ ここのところ、毎日のように一緒に出歩いているそうだけど。  
ミシェル : もう電話したわ。今晚は会ってないと言っていたわ。  
アレックス : 何かぼくに手伝えることある？  
ミシェル : もしよければ、娘さんにサラのこと聞いてもらえる？  
アレックス : いいよ。今、風呂に入っているけど、聞いてみるよ。ちょっと待っていて。  
ミシェル : わかった。待っているわ。あっ、待って。サラ！ 帰って来たわ！ サラ、こんな時間までどこに行っていたの？ アレックス、ありがとう。明日電話するわね。娘にはたっぷりお説教してやるわ。

- 質問1 サラとはだれのことですか？  
質問2 なぜミシェルは心配しているのでしょうか？  
質問3 この会話は何時頃のものですか？  
質問4 会話の間、アレックスの娘は何をしていますか？  
質問5 会話の最後で何が起こりますか？

**解説**

- Question 1** 会話の中盤でアレックスがミシェルに対して、サラのことを your girl と表現している。またミシェルは my daughter と呼んでいる。
- Question 2** サラが電話もなしに約束の時間を過ぎても帰宅しないことを心配しているのである。C「サラが昨夜から家にいないから。」と D「サラがまだ家に帰ってきていないから。」の2つで迷うところだが、会話中ではいつから戻っていないかはふれられていないので D を選ぶ。
- Question 3** アレックスが It's almost eleven. (もう11時近くじゃないか。)と言っている。
- Question 4** She is in the bath now (彼女 (=アレックスの娘) は今、風呂に入っている) とある。
- Question 5** サラが帰ってきたのだから B が正解。

## 2章 動名詞

### 要点

#### ■ 確認問題 1

##### 解答

- (1) 新しい生活様式に慣れるには長い時間がかかる。
- (2) 異論を唱える前に、私の言うことを聞きなさい。
- (3) とても長く立っていた後だったので、座って休息するのは喜びだった。
- (4) マリアは有名な写真家と一緒に働いていることを誇りに思っている。

#### ■ 確認問題 2

##### 解答

- (1) answering
- (2) to have
- (3) to air
- (4) dealing
- (5) to find
- (6) asking

##### 解説

- (1) 彼は私の質問に答えることを避けた。
- (2) 電話をください。そして一緒に夕食をとる手筈を整えましょう。
- (3) テレビ局はその討論を放映することに同意した。
- (4) 彼らはその問題を取り扱うことを延期した。
- (5) 何時にバスが来るかお願いですから調べて頂けませんか。
- (6) 私は一緒に行くことはできないと言いました。だからもう誘うのはやめてください。

#### ■ 確認問題 3

##### 解答

- (1) On arriving home, he rushed into the bathroom.
- (2) He went out without saying good-bye.
- (3) I'm not used to cooking.
- (4) It is no use worrying so much about tomorrow.
- (5) What do you feel like doing this weekend?

#### ■ 確認問題 4

##### 解答

- (1) 私はその企画に関わっていることを楽しんでいる。

- (2) その村人たちは侵略者に攻撃された経験がある。
- (3) カールは間違っことをしたことを認めた。

■ 確認問題5

**解答** .....

- (1) その理由を伺ってもよろしいですか。
- (2) 彼は違法な行為をしたことを否認した。
- (3) 私は宿題をしなかったことに対する言い訳は何も持たない。

## 問題

### 【1】

#### 解答

- (1) my [me] climbing
- (2) my [me] reading some books [me to read some books]
- (3) the boy, stealing [having stolen]
- (4) his girlfriend('s) never being [coming]

#### 解説

①動名詞の「意味上の主語」は、「所有格」か「目的格」のかたちで…ing の直前に置くことで示される。

- |   |                                |
|---|--------------------------------|
| { | …ing 「…すること」                   |
|   | <u>所/目 (A) …ing</u> 「A が…すること」 |

②また、動名詞の否定形は、not か never を…ing の直前に置くことで作られる。

- |   |  |
|---|--|
| { | …ing 「…すること」                                 |
|   | <u>not [never] …ing</u> 「…しないこと [決して…しないこと]」 |

### 【2】

#### 解答

- (1) The singer was afraid of being stalked by his fans.
- (2) The politician couldn't but admit having carried out a bad policy.
- (3) He is ashamed of his son('s) having made the same mistake again.
- (4) She insists on her daughter('s) not being treated properly.
- (5) He sent us a box of oranges of his own growing.

#### 解説

①動名詞の内容が受動的なものであるときは、動名詞の受動態 being 過去分詞を用いる。

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| { | …ing 「…すること」               |
|   | <u>being 過去分詞</u> 「…されること」 |

②動名詞の内容が、文の述語動詞が示す「時」よりも先に生じた事柄、つまりその時点ですでになされている事柄であるときは、動名詞の完了形 having 過去分詞を用いる。

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| { | …ing 「…すること」               |
|   | <u>having 過去分詞</u> 「…したこと」 |

- (1) 「その歌手はファンにストーカーされることを恐れていた。」
- (2) 「その政治家はまずい政策を実行したことを認めざるをえなかった。」
- (3) 「彼は息子がまた同じ間違いをしたことを恥じている。」
- (4) 「彼女は娘が適切な扱いを受けていないと主張している。」
- (5) 「彼は自分で栽培したオレンジを1箱私たちに送ってくれた。」

### 【3】

#### 解答

- (1) a remember to check  
b remember putting
- (2) a regret to tell  
b regretted turning
- (3) a went on smoking  
b went on to talk
- (4) a tried to call  
b tried calling

#### 解説

- (1) a 「答案を提出する前に、自分の解答を忘れずにチェックするべきですよ。」  
b 「私はそのお金をひきだしに入れたのを覚えているが、それが今そこにはないのだ。」
- (2) a 「私たちは残念ですが、あなたの要求が却下されたことをお伝えいたします。」  
b 「その手紙を投函するとほぼ同時に、私はその職を断ったことを後悔した。」
- (3) a 「私たちは彼女を説得して喫煙をやめさせようとしたが、彼女はひたすら喫煙を続けた。」  
b 「政府の方針を攻撃した後、それに続けて彼は総理大臣たるものいかに行動すべきかの話に移った。」
- (4) a 「私は昨夜あなたに電話しようとしたのですが、まわりに人がいてそのチャンスがありませんでした。」  
b 「ほんの2、3時間前に私は彼のオフィスに電話をしてみました、誰も出ませんでした。」

### 【4】

- (1) That boy, who hasn't finished his homework yet [who is still working on his homework], is always being afraid of being scolded by his teacher.
- (2) It amuses me to think of my brother('s) sitting at a desk in a suit.
- (3) He isn't used to being spoken to in that way.
- (4) Mr. Green denied having been involved in the plot.
- (5) The only way to avoid arguing with her is to agree with her.
- (6) I can't stand John('s) walking around in my room with his shoes on.
- (7) Education is helping a child (to) realize his potentialities.

#### 解説

- (1) { be afraid of ...ing 「...することを恐れている」  
be afraid of being 過去分詞 「...されることを恐れている」  
be always ...ing : 「...してばかりいる」

- (2) { think of …ing 「…することを思い浮かべる〔想像する〕」  
 { think of 所 / 目 (A) …ing 「A が…することを思い浮かべる〔想像する〕」  
 形式主語 it と、真主語 (to 不定詞) の組み合わせになっている。
- (3) { be used [accustomed] to …ing 「…することに慣れている」  
 { be used [accustomed] to being 過去分詞 「…されることに慣れている」
- (4) { deny …ing 「…する〔している〕ことを否定する」  
 { deny having 過去分詞 「…したことを否定する」
- (5) avoid …ing 「…することを避ける」
- (6) { stand …ing 「…することに耐える〔を我慢する〕」  
 { stand 所 / 目 (A) …ing 「A が…することに耐える〔を我慢する〕」  
 with … on : 「…を身に着けたままで」付帯状況の with である。
- (7) help O (to) 動詞の原形 : 「O が…するのを手助けする」

## 【5】

### 解答

飢餓を終わらせることは世界の経済システムへの挑戦であり、それには国内的な対策と国際的な対策の両方が必要である。

## 【6】

### 解答

- (1) イ (2) ア (3) ウ (4) エ (5) エ (6) ア  
 (7) カ・イ・ウ・ア・オ・エ  
 (8) イ (9) ウ (10) エ (11) イ

### 解説

- (1) stay away from ~ 「～から離れている」
- (4) 10 行目～12 行目参照。
- (5) suggests の目的語となる名詞節を導く接続詞の that  
 ア 指示副詞の that 「あれほど」  
 イ 強調構文 it is ~ that の that  
 ウ 指示形容詞の that 「あの」  
 エ demanded の目的語となる名詞節を導く接続詞の that
- (6) 16 行目の who we are が personality に対応, how we feel が emotions に対応している。
- (7) (The results showed that) everyone in the study was equally likely to get infected.
- (8) on the other hand 「一方で」
- (9) 次の英文の「この物質は感染症と戦い、幸せな人にはるかによく機能するようだ」を参照。
- (10) 形式主語の構文。「明るい側を見ることは害であるはずがない」が直訳。
- (11) ア 寒さに強いということに関しての言及はない。名詞の cold は「風邪」の意味。  
 ウ 22 行目参照。風邪の点鼻薬を受けた後、5、6 日間病室にいた。

エ 25行目～28行目参照。「よい精神状態を記録し、ウイルスにかかった人は28%が咳や鼻づまりにまで悪化した。一方であまり希望をもっていなかった人の41%にこういった症状があった」

全訳

新しい研究によると、幸せな人は、ネガティブな態度の人に比べて、風邪にかかりにくい。幸せで希望に満ちていることによって体は病気と戦うのに役立つ、と科学者は言う。つまり、もしあなたが風邪をひきたくないのなら、満面の笑みを浮かべていれば良いのだ！

「我々はポジティブな精神状態が病気の危機管理における大きな要因であることの可能性をもっと真剣に取り扱う必要がある」とこの研究を支持する心理学教授は言う。

以前の研究で、その教授と同僚は風邪の原因となるウイルスを334人の健康な大人の鼻に注入した。上機嫌でいることが多い人は鼻づまりや咳、その他の風邪の症状をもっとも悪化させなかった。ポジティブな感情を見せる人はまた、たとえ医学的検査で彼らが風邪をひいていると示している時でさえ、自分の調子についてあまり医者に言おうとはしなかった。

これらの結果は興味深いものだったが、人の感情がその人が風邪にかかるかどうかに影響すると証明したわけではなかった。そうではなくて、人の性格が本当に問題なのだという事ともいまだありえるのだった。例えば、ある人々が生まれつき幸せだったり自信を持ちやすかったりすると示しているというのが証拠だ。これは我々がどのように感じるのかではなく、誰であるのか、それが究極には我々が風邪をひく可能性を決定していることも意味するのかもしれない。

では、何がより問題なのだろうか？それを解明するためにその教授の研究チームは193人の健康な大人と面談した。そのスタッフは電話越しに2週間毎晩それぞれの大人と話した。面談の間、その日に経験したネガティブな感情、ポジティブな感情について話した。その面談期間の最後に風邪のウイルスを含んだ点鼻薬を受けた。そしてそれぞれ5、6日間病室にいた。

その研究対象の全ての人が同じように風邪にかかる傾向があったと分かった。しかし症状はそれ以前の2週間で記録した感情の種類によって異なった。よい精神状態を記録し、ウイルスにかかった人は28%が咳や鼻づまりにまで悪化した。一方であまり希望をもっていなかった人の41%にこういった症状があった。

他の研究で、ポジティブな感情を経験する人々はある体内の自然にできる物質によって助けられるかもしれないと分かった。この物質は感染と戦い、幸せな人によりよく作用するようだ。

ネガティブな感情やポジティブな感情がどれほど健康に強い影響を与えるかについて科学者は議論する。しかし、今、物事の輝かしい側面を見ることが不都合なはずがない。



## リスニング演習

### 解答

Question 1 B

Question 2 C

Question 3 B

Question 4 C

Question 5 D

### Script

#### CD 2

Peter : Excuse me, but did you buy your hat on 3rd Street?

Rachel : Yes, how did you know? And who are you? I don't think I've met you before.

Peter : Oh, I'm sorry. My name's Peter Evans. No, we haven't met before. But I just came across the same hat on Sunday and bought it for my wife for her birthday. I also got that red color. Red is her favorite color.

Rachel : That is interesting. Red is my favorite color, too.

Peter : Wait a minute. Where did you get this bag? Was it at the City Mall?

Rachel : Exactly. You bought the same bag there, too?

Peter : Yes, I thought my wife would love it, so I got it too as a birthday present.

Rachel : How strange! I was also looking for my sister's birthday present. Her birthday is this coming Friday and I got the same bag for her and myself.

Peter : No way! My wife's birthday is also Friday the 19th. May I ask your name?

Rachel : Oh, my name is Rachel.

Peter : Rachel! My wife's name is Rachel, too!

**Question 1** Were Peter and Rachel friends?

**Question 2** Why did Peter talk to Rachel?

**Question 3** What did Peter buy for his wife?

**Question 4** What did Rachel buy at the City Mall?

**Question 5** Which is not correct about Rachel and Peter's wife?

### 全訳

ピーター : すみませんが、あなたの帽子は3番通りで買ったのですか?

レイチェル : ええ、どうしてご存じなのですか? それに、あなたはどちら様ですか? 前にお目にかかったことはないと思いますが。

ピーター : ああ、失礼しました。わたしはピーター・エバンズといいます。ええ、わたしたちは以前に会ったことはありません。でも日曜日に同じ帽子を見つけましてね。それで妻の誕生日に買ってあげたものですから。わたしも赤を買ったのです。赤は妻が好きな色でしてね。

レイチェル : それはおもしろいですね。わたしも赤が好きなんですよ。

ピーター : ちょっと待ってください。このかばんはどこで買われたんですか? シティ・モールですか?

レイチェル : その通りです。あなたもそこで同じかばんをお買いになったんですか?

ピーター : ええ。妻がきっと気に入ってくれるだろうと思ひましてね、それでかばんも誕生日プレゼントとして買ったんです。

レイチェル : 何て不思議な話なんでしょう。わたしも妹の誕生日のプレゼントを買おうと思って探していたんです。妹の誕生日は今度の金曜日なんですよ。それで同じかばんを妹とわたし用に買ったんです。

ピーター : まさか！ わたしの妻の誕生日も 19 日の金曜日なんです。あなたのお名前を伺ってもよろしいでしょうか？

レイチェル : ええ、わたしの名前はレイチェルです。

ピーター : レイチェルですって！ わたしの妻の名前もレイチェルなんです！

**質問 1** ピーターとレイチェルは友達でしたか？

**質問 2** なぜピーターはレイチェルに話しかけたのですか？

**質問 3** ピーターは妻に何を買いましたか？

**質問 4** レイチェルはシティ・モールで何を買いましたか？

**質問 5** レイチェルとピーターの妻に関して、どれが正しくないですか？

#### 解説

**Question 1** お互いに I don't think I've met you before. (前にお目にかかったことはないと思いますが。), we haven't met before (わたしたちは以前に会ったことはありません) と言ひ合ひ、名前をたずねあっている。

**Question 2** did you buy your hat on 3rd Street? (あなたの帽子は 3 番通りで買ったのですか?) とたずねているので正解は C。

**Question 3** ピーターが買ったのは、赤い帽子とかばん。かばんの色については述べられていない。

**Question 4** 妹と自分のために、かばんを 1 つずつ (合計 2 つ) 買ったことがわかる。

**Question 5** 誕生日が 19 日の金曜日なのはレイチェルの妹。レイチェルとピーターの妻に共通するのは、名前、帽子、かばん、好きな色。

## 3章 分詞構文

---

### 要点

#### ■ 確認問題 1

##### 解答

- (1) Taking an express train, you'll get there in an hour.
- (2) Walking down the street, I saw Mr. and Mrs. Kato.
- (3) Having a fever, I left school early.

#### ■ 確認問題 2

##### 解答

- (1) 封筒を開けてみて、私は驚いた。
- (2) 気分が悪かったので、私はベンチで休んだ。
- (3) 彼女は、家に向かって運転しながら、名案を思いついた。
- (4) この試合に勝てば、私たちは決勝戦に出られます。

#### ■ 確認問題 3

##### 解答

- (1) Having spent a lot of time in the country, he knew a lot about the local culture.
- (2) Having tried on several suits, he picked out a black one.
- (3) Having stayed up late the night before, I fell asleep during the lesson.

#### ■ 確認問題 4

##### 解答

- (1) Not feeling well, I canceled my dentist appointment.
- (2) Having never sung solo in public [Never having sung solo in public], she was very nervous.

#### ■ 確認問題 5

##### 解答

- (1) It being windy, the yacht race was postponed.
- (2) The traffic being very heavy, the bus was delayed.
- (3) There being no street lights, we got lost.

#### ■ 確認問題 6

##### 解答

- (1) たくさんの他のステレオに比べると、これは実に掘り出し物だ。

- (2) 一般的に言って、池は英国式庭園の伝統的な特徴である。
- (3) 厳密に言うと、それはバロック様式の宮殿ではない。
- (4) 彼らの会話から判断すると、彼らはもはや夫婦〔カップル〕ではない。

## 問題

### 【1】

#### 解答

- (1) Feeling
- (2) Turning
- (3) Hanging
- (4) Seen
- (5) Not knowing
- (6) Having done

#### 解説

- (1) 時制は felt と went で同じなので felt の原形 feel に -ing。
- (2) 時制は will turn と will find で同じなので現在形 turn の原形 turn に -ing。⇒「時・条件を表す副詞節内においては、現在時制が未来を表す（つまり、will turn とはならないが、未来を表している）。
- (3) 時制は was と bumped で同じなので was の原形 be に -ing をつけるわけだが、すでに過去進行形には分詞があるので Being hanging の Being は省略される。
- (4) 時制は is と looks で同じなので is の原形 be に -ing をつけるが受動態ではすでに過去分詞があるので Being seen の Being は省略される。
- (5) 時制は didn't know と consulted で同じなので know に -ing。助動詞の did は消し、否定語 not はそのまま knowing の前に置く。
- (6) 時制は had done と enjoyed で同じではないので完了の Having done になる。

### 【2】

#### 解答

- (1) Being twenty, he can vote.
- (2) Having eaten too much, he feels sick.
- (3) Not having a map, he got lost.
- (4) Seen from here, the rock looks like a frog.
- (5) It being cold, we turned the heater on.
- (6) Not used properly, this medicine will be dangerous.
- (7) The flowers smelling sweet, she felt good.
- (8) Having won the game, he jumped for joy.

#### 解説

- (1) 「彼は 20 歳なので投票できる。」  
主語は共通。時制も同じなので is の原形に -ing。
- (2) 「食べ過ぎて、彼は気持ちが悪くなった。」  
主語は共通。時制は ate（過去）と feels（現在）で同じではないので eating とはならない。完了形の分詞を用いて having eaten とする。

(3) 「地図を持っていなくて、彼は道に迷った。」

主語は共通。時制も didn't have と got で両方とも過去。

(4) 「ここから見ると、その岩はカエルのように見える。」

it = the rock なので主語は共通。Being seen の seen がすでに分詞なので Being は省略される。

(5) 「寒かったので私たちはヒーターをつけた。」

主語が共通でない場合はそのまま残せばよい。この it は明暗や寒暖を表す主語の it。時制は同時なので was の原形 be に -ing。

(6) 「適切に使われないと、この薬は危険なものになってしまう。」

条件を表す副詞節内では現在時制が未来を表すため、この if 節の is は未来を表す。したがって will be (未来) と時制は同じである。Not being used properly としても誤りではないが、used がすでに分詞なので Being は省略される。it = the medicine なので主節の it の場所に the medicine を置きかえることを忘れずにできただろうか。

(7) 「花が甘い香りで、彼女はいい気分になった。」

主語が共通ではないので The flowers はそのまま残し、時制は過去どうして同じなので smelled の原形に -ing。

(8) 「試合に勝って彼は喜びのあまり跳び上がった。」

### 【3】

#### 解答

- (1) Being a widow with four children, she had to work.
- (2) The storm hit the town, causing great damage.
- (3) Bitten by the snake, he felt a sharp pain.
- (4) Having photocopied the article, she put it back in the file.
- (5) Not being aware of the danger, Judy ran towards the cliff edge.
- (6) The water not being warm enough, we gave up swimming in the pond.
- (7) There being no seats available, we had to watch the show standing.

#### 解説

- (1) 「4人の子供を抱えた未亡人だったので、彼女は働かなくてはならなかった。」
- (2) 「嵐はその町を直撃し、大きな被害を与えた。」
- (3) 「へびにかまれたとき、彼は鋭い痛みを感じた。」
- (4) 「その記事をコピーしてから、彼女はそれをファイルの中に戻した。」
- (5) 「危険に気付かぬまま、ジュディーは崖の先端に向かって走っていった。」
- (6) 「水が十分な温かさでなかったので、私たちは池で泳ぐのをあきらめた。」
- (7) 「空いている席がなかったので、私たちはそのショーを立って見た。」

#### 【4】

##### 解答

- (1) 「川沿いを歩いていて、私は財布を見つけた。」
- (2) 「アメリカ合衆国で生まれたので、彼女は英語を上手に話すことができる。」
- (3) 「このバスに乗れば、30分で伊丹空港に着きますよ。」
- (4) 「外国人の目から見(られ)れば、日本人は非常に勤勉である。」
- (5) 「ホラー映画を見たくなかったので、私はテレビを消した。」
- (6) 「返事をもらっていなかったなので、私はもう一度手紙を書いた。」
- (7) 「お客さんを見ると、その犬は吠えだした。」
- (8) 「耳が不自由なので、彼はいつも補聴器をつけている。」
- (9) 「明らかな誤りをしたにもかかわらず、彼はなおもそれを認めようとしなかった。」
- (10) 「あなたの観点で考え(られ)ると、その結果は不満足である。」

##### 解説

- (2) 時制に注意。完了形 of 分詞構文 having been 過去分詞 of having been は省略可能。
- (3) in + 経過 [所要] 時間 「現在から～たてば；～のうちに」
- (5) turn off ～ 「～ (のスイッチ) を消す」

#### 【5】

##### 解答

- (1) 「その日は学校がなかったので、私たちはコンサートに行った。」
- (2) 「水が十分温かくなかったので、彼女は池で泳ぐのをあきらめた。」
- (3) 「太陽が昇ってから、彼らは仕事に出た。」
- (4) 「お金はすべて競馬に使った〔使われた〕ので、彼は友人にお金を貸してくれと頼んだ。」
- (5) 「年の割には [年齢を考慮すると]、彼の振る舞いは子供っぽい。」
- (6) 「なまりから判断すると、彼はテキサス出身であるに違いない。」
- (7) 「ジョニーは、兄と比べ(られ)ると内向的なようだ。」
- (8) 「友人たちみんなから引き離されて、彼女はさびしい気持ちになった。」

##### 解説

- (7) compare A with B 「A を B と比べる」  
→ A be compared with B 「A は B と比べられる」
- (8) separate A from B 「A を B から引き離す」  
→ A be separated from B 「A は B から引き離される」

#### 【6】

##### 解答

もし多量のプラスチックが飲み込まれると、動物たちは誤った満腹感を感じてしまうせいで、最終的には餓死してしまうかもしれない。動物はものを食べるのを簡単にやめてしまうかもしれないのである。ウミガメにとっては、飲み込まれたプラスチック製品が過度な浮力を生じてしまい、エサを求めて潜ることや、敵から逃れることができなくなることもあるのである。

## 【7】

### 解答

- (1) 喫煙がもとで肺がんを患ったから。
- (2) 重罪であると考え、違反者はさらに重くなりつつある罰則を科せられる。
- (3) 薬物乱用と徹底抗戦の構えである。
- (4) 逮捕、運転免許停止、多額の罰金
- (5) d
- (6) a

### 解説

- (1) 「なぜ裁判で争おうとする人がいるのか？」第1段落第4文 Some people with lung cancer are now going to court to fight cigarette manufacturers. と第1段落全体の論旨から考える。
- (2) 「飲酒運転について警察の考えは？」第2段落第1文 Traffic police treat drinking and driving as a serious offence. を手がかりに、段落を要約する。
- (3) 「厚生当局は何をしようとしているのか？」第3段落最終文 Drug use is a persistent problem that health officials are committed to fighting. から考える。
- (4) 第2段落 Drunk drivers face arrest, the loss of their driver's license, and a large fine. から考える。fine の元義は「最終決着をつけるもの」である。
- (5) 「次の中で正しいものは？」
  - a 440億ドルが高校最上級生の喫煙をやめさせるために使われている
  - b 高校生はお金の62%を紙巻タバコに使う
  - c 87%の学生は喫煙の経験がない
  - d 440億ドルが毎年アルコール製品に使われている第3段落第1文・2文の情報を読み取る。those = people の用法に注意。
- (6) 語彙で覚えていない場合は文脈で類推する。「アルコールは judgment と運動神経を損なう」となる。これを受動態にすると「アルコールを飲むと、judgment と運動神経が損なわれる」となり、さらにわかりやすくなる。judgment は運動神経と同じでもともと人間が持っている良い能力だと考えると「判断力」という意味しか選べないはずである。この judgment は大学入試に向けて必ず覚えておいて欲しい単語だが、このように語彙を推測する力も養いたい。イギリス式では judgement と綴ることがある。

### 全訳

アルコールとタバコのニコチンはともに（精神に作用し、常用癮を生じさせる）薬物である。つまり、中毒性があるということだ。アメリカ公衆衛生局医務長官は、タバコは人の健康に有害であると明確に述べた。一部の肺がん患者は、タバコ製造業者を相手に訴訟を起こしている。ほとんどの公共の建物では喫煙は許されず、アメリカの国内線の機内では、すべて禁煙である。

（交通）警察は飲酒運転を重罪として扱う。アルコールは判断力と身体能力を損なう。酔っぱらい運転（そして薬物酩酊運転）は深刻な事故を起こす可能性がある。酔った運転手には、逮捕・運転免許停止・多額の罰金が待ち受けている。罰則はさらに厳しくなっている。



アメリカの高校3年生のうち、87%は飲酒を、62%は喫煙を経験している。これらの若者たちは、年間440億ドルをアルコール製品に、370億ドルをタバコに消費する者の一部である。薬物使用は社会に根強くはびこる問題で、厚生当局者は徹底抗戦する構えである。

## リスニング演習

**解答**

**Question 1 B      Question 2 D      Question 3 A      Question 4 D**

**Script**

### CD 3

Man : Hey, I have something to ask you.

Woman : Excuse me. Do I know you?

Man : I don't think so, but I know you. Where is it?

Woman : Pardon?

Man : I said, "Where is it?"

Woman : Where's what!? I don't know you, and I don't really understand...

Man : Your brother Thomas sent it to you about a week ago.

Woman : Thomas? No, I haven't heard from him for six months.

Man : He told us he sent it to you on Monday. So you must have got it on Tuesday or Wednesday.

Woman : No, I have never received anything from him.

Man : OK, maybe you don't know what it is, but you must have got it. I just want to get it back.

Woman : All right. What do you want? What is it? Money? Secret documents or something?

Man : It's a book, a very old book with a leather cover.

Woman : A book? You mean that old black book? But Henry sent it to me, not Thomas.

**Question 1** Which is correct?

**Question 2** When did she last hear from Thomas?

**Question 3** According to the man, when did Thomas send the item?

**Question 4** What did she receive from Henry?

**全訳**

男：ちょっと、聞きたいことがあるんだが。

女：失礼ですが、どこかでお会いしましたっけ？

男：いや、しかしこっちはあんたのことを知っている。例のものはどこだ？

女：何ですって？

男：「例のものはどこだ？」と言ったんだ。

女：何の場所のことです？ わたしはあなたを存じませんし、本当に何のことだか…

男：1週間ほど前にあんたの兄さんのトーマスが送ってきたものだ。

女：トーマス？ いいえ，兄からはもう半年も連絡がありませんが。

男：やつは月曜日にあんたに送ったと言っていた。だから，火曜日か水曜日には受け取っているはずだ。

女：いいえ，兄からは何ひとつ受け取っていません。

男：そうか，あんたは例のものが何かは知らないのかもしれない。だが，受け取ったことは確かだ。こっちはそれを取り戻したいだけだ。

女：わかりました。何が欲しいんですか？ 一体何なんです？ お金ですか？ 秘密文書か何か？

男：本だ。すごく古い革表紙の本。

女：本ですって？ あの古い黒い本のこと？ でも，ヘンリーが送ってきましたよ。トーマスではなく。

**質問 1** どれが正しいですか？

**質問 2** 彼女がトーマスから最後に連絡を受けたのはいつですか？

**質問 3** 男によると，トーマスはいつその品物を送ったのですか？

**質問 4** 彼女はヘンリーから何を受け取りましたか？

**解説**

**Question 1** 女は男のことを知らない。男は女を知っていると言っている。

**Question 2** I haven't heard from him for six months (兄からはもう半年も連絡がありません)と言っているのです。半年前が最後に連絡を受けたとき。

**Question 3** He told us he sent it to you on Monday. (やつは月曜日にあんたに送ったと言っていた。)という発言がある。He = Thomas である。

**Question 4** 受け取ったのは本。

## 4章 否定表現

---

### 要点

#### ■ 確認問題 1

##### 解答

- (1) 今日できることを決して明日に延ばすな。
- (2) 私はあまりスポーツが好きではない。
- (3) すべてのコンビニエンスストアが24時間営業なわけではない。
- (4) 私たちは今までのところ何の問題も抱えていない。
- (5) 私は教師でも実業家でもない。

#### ■ 確認問題 2

##### 解答

- (1) 私は甘いものにはほとんど手をつけない。
- (2) あなたはよく風邪をひきますか。それともめったにひきませんか。
- (3) レモン汁のほんの数滴がお茶の色を変える。
- (4) タイプAとタイプBの間にはほとんど違いはない。

#### ■ 確認問題 3

##### 解答

- (1) この種の建築はもう日本では人気がない。
- (2) 彼は私にさよならさえも言わなかった。
- (3) アラブのいくつかの国では、女性には選挙権さえもない。
- (4) このリングはまだ青くて食べられない。
- (5) テッドは決して友人を裏切らないだろう。

#### ■ 確認問題 4

##### 解答

- (1) Never have I eaten food like this before.
- (2) Little did I dream of seeing him again.
- (3) Hardly had she worn the new scarf before it was lost.

## 問題

### 【1】

#### 解答

- (1) 私の妻はいつも私に同意してくれるわけではない。  
→ My wife never agrees with me.
- (2) 私はこれらの雑誌を両方とも読んだわけではない。  
→ I have read neither of these magazines.  
I haven't read either of these magazines.
- (3) 私たちみんなが試合の結果に満足したわけではなかった。  
→ None of us were [was] satisfied with the result of the game.
- (4) 私たちは、入って来るどのお客様にも丁寧に挨拶したわけではなかった。  
→ We didn't greet any guests politely as they entered.
- (5) これがベンのしわざであるということが完全に確かなわけではない。  
→ It's not certain at all that this is what Ben did.

#### 解説

- (1) 「私の妻は決して私に同意してくれない。」  
{ not always ~ 「いつも～というわけではない」 <部分否定>  
{ never ~ 「決して～ない；一度も～ない」 <全体否定>
- (2) 「私はこれらの雑誌をどちらも読んでいない。」  
{ not (...) both ~ 「～の両方とも…というわけではない」 <部分否定>  
{ not (...) either ~, neither ~ 「～のどちらも…ない」 <全体否定>
- (3) 「私たちは誰ひとり試合の結果に満足しなかった。」  
{ not (...) all ~ 「すべての～が…というわけではない」 <部分否定>  
{ none ~ 「～の何ひとつ [誰ひとり] …ない」 <全体否定>
- (4) 「私たちは、入って来るどのお客様にも丁寧に挨拶しなかった」  
{ not (...) every ~ 「あらゆる～が…というわけではない」 <部分否定>  
{ no ~, not ... any ~ 「まったく [ひとりも, ひとつも] ～がない」 <全体否定>
- (5) 「これがベンのしわざであるということはまったく確かでない。」  
{ not quite [completely] ~ 「完全に～というわけではない [完全には～ない]」  
<部分否定>  
{ not (...) at all, not (...) in the least 「まったく…ない」 <全体否定>

### 【2】

#### 解答

- (1) Seldom does my father tell jokes.
- (2) Never have I seen such a great view.
- (3) Little did I dream that I would become the mother of twin girls.
- (4) Scarcely could I see anything in the thick fog.

- (5) Hardly had he left the office when he realized he had forgotten his wallet.
- (6) No sooner had she left the store than she found that she had not received the change.
- (7) Not only does he draw illustrations, but he also writes poems.
- (8) Not a single word has the student written since the exam started.
- (9) Not until the famine gets worse will the government take action.

**解説**

- (1) 「私の父はめったに冗談を言わない。」
- (2) 「私はこんなに美しい景色を見たことがない。」
- (3) 「私は自分が双子の女の子の母親になろうとは夢にも思わなかった。」
- (4) 「深い霧の中、私はほとんど何も見えなかった。」
- (5) 「彼は会社を出るとすぐに財布を忘れたことに気がついた。」  
通常、前半は過去完了時制、後半は過去時制の組み合わせで用いる。
- (6) 「その店を出るやいなや、彼女はおつりを受け取っていないことに気づいた。」  
通常、前半は過去完了時制、後半は過去時制の組み合わせで用いる。
- (7) 「彼はイラストを描くだけでなく、詩も書く。」
- (8) 「試験が開始してからその生徒は一語たりとも書いていない。」
- (9) 「飢饉がさらに悪化するまで政府は措置をとらないだろう。」  
「飢饉がさらに悪化して初めて、政府は措置をとるだろう。」

**【3】**

**解答**

- (1) few people ; little water
- (2) the last person
- (3) never [by no means, far from]
- (4) did not find ; until the train arrived / until the train arrived : did Jack find that
- (5) never climbs [can't climb], without bringing
- (6) seldom [rarely] do their best

**【4】**

**解答**

- (1) Fathers are not necessarily good at looking after children.
- (2) Television sets are few in the country.
- (3) The children were beginning to like their stepmother though they hardly [scarcely] knew her.
- (4) We sat talking about people who were no longer in this world.
- (5) Not until the party was over did Bob turn up.
- (6) No sooner had my brother closed his eyes than he fell asleep.

**解説**

- (1) not necessarily ~ 「必ず~というわけではない [必ずしも~とは限らない]」
- (2) few + 可算名詞・複数形 「ほとんど~がない」
- (3) hardly } 「ほとんど~しない」 <程度>  
scarcely }
- (4) no longer } 「もはや~ない」  
not ... any longer }
- (5) not ... until [till] ~ { 「~するまでは...しない」  
= 「~して初めて...する」

強調のため否定語句を文頭に置くのにともない、S V 部分を倒置させることに注意。

{ Bob did not turn up until the party was over.  
→ Not until the party was over *did Bob turn up.*

- (6) no sooner ... than ~ 「...するとすぐに~する」 通常、前半は過去完了形、後半は過去形の組み合わせで用いる。

**[5]****解答**

彼と知り合ってからすぐに、私は彼のことをよく知ろうと決心した。生まれてこのかた、私はどんな人に対しても、これほど強く、また、たちまちのうちに心をひかれたことは後にも先にも一度もない。

**解説**

- No sooner *had I come* into contact with him than I determined to get to know him well.
- Never in my life *have I been* so strongly and immediately attracted to any man, before or since.

**[6]****解答**

- (1) たとえ釘の上に紙をかぶせても、磁石には釘を引き付ける力がある。(31字)
- (2) 大きな黒い石の上に立った時彼がはくサンダルの鉄の釘が強く引っ張られたこと。(37字)
- (3) 接近しすぎて通る木造船から釘を引っ張り抜いてしまうほどである。(31字)
- (4) 水槽に浮かべた木片の上に1本の磁石をのせてコンパスを作った。(30字)
- (5) 棒状の磁石がコンパスとして使われた場合、北方に向いた棒磁石の先端にあたる磁極。(37字)

**解説**

- (1) 第1段落 mysterious pulling power の例は、Even if ~ 以下に述べられている。
- (2) 第2段落最終文に Magnes, who discovered ~ とあるので that 以下をまとめる。
- (3) magnetic mountains の説明は、第3段落最終文の that 以下に述べられている。
- (4) 第6段落冒頭に To make a compass (方位計を作るためには) とあるので、その後

をまとめる。

(5) 本文最後の部分 When the bar is used as a compass, … 以下をまとめる。

**全訳**

一度でも小さな磁石を扱ったことがあるなら、それがクリップや釘など小さな金属で出来た物を吸いよせることができることがわかるだろう。磁石には物を引き寄せる、不思議な力がどうやらあるようだ。釘の上に紙をかぶせても、磁石は釘を引き寄せる。この、物を引き寄せる力は磁気と呼ばれている。

人間が磁気に気づいたのは、何千年も昔のことだ。人はある種の黒い岩石のかけらには、妙な力があることを発見し、それは磁気と呼ばれることになったのだ。なぜその名が選ばれたのかは、まったく不明である。マグネスと呼ばれていた羊飼いにちなんで名づけられたという話もある。彼が、ある大きな黒い岩に立った時に、履いていたサンダルの鉄釘が、強く引き付けられたということを彼は発見したのだそうだ。

また別の話に、小アジアにあったマグネシアと呼ばれていた場所から名前が由来しているというものがある。そこでこの種の岩が最初に見つかったのだそうだ。さらには、大昔からの空想じみた話も残っている。磁石によって空中に浮かぶ鉄の像や、接近しすぎて通る木製の船から釘を抜き取ることができる磁石の山についての話である。

しばらくすると、人々はこの黒い岩石、つまり、磁石の便利な面に気づき始めた。長細く薄い磁石が糸で吊るされると、向きを色々と変えた後、南北の方向を向いて止まるということを発見したのだ。同じ端が、いつも北を指す。これはつまりこういう形の磁石は方位計として使うことができるということだ。

船乗りたちはこういった方位計を、月や星が見えないときに使い始めた。磁力を持った岩は、『導く石』という意味の lodestone (天然磁石) として知られるようになった。

方位計を作るために、船乗りは天然磁石の一片を水の入った桶に浮かべた木片の上に置いた。こうすることで、天然磁石が自由に南北方向を示すように回転できたのだ。コルクに棒磁石を置いて水の入ったボウルに浮かべて同じ実験をすることができる。やってみるとよい。

自分で簡単に確かめることのできる、磁気のほかの大切な面もある。ひとかたまりになった釘の上に棒磁石を置いて、持ち上げてみてほしい。釘は、主に磁石の両端近くに吸いつけられる。力が強いこれらの2つの場所は、磁石の極と呼ばれている。棒磁石が方位計として使われるときには、一方の端が北を指す。この端の極は、北極または簡単にN極と呼ばれる。もう一方は南極、S極である。

## リスニング演習

### 解答

Question 1 C                      Question 2 A

Question 3 D                      Question 4 A

### Script

#### CD 4

Husband : Hurry up! We have 12 customers, and they all want today's special. Some of them have waited for 15 minutes. They're getting angry.

Wife : I know, I know, but I only have two hands. You'll have to help me.

Husband : Oh, O.K. What do I do first?

Wife : Well, start putting the meat on the plates, and I'll finish the soup.

Husband : O.K. Is that enough meat?

Wife : That's a little too much. Take some off.

Husband : What about potatoes?

Wife : Put on plenty of potatoes.

Husband : All right. Can I take them out now?

Wife : Have you put on peas yet?

Husband : Huh? Oh, no, I haven't. Where are they?

Wife : Here they are.

Husband : There aren't enough peas.

Wife : There's plenty in that pot over there.

Husband : Here? O.K. I've got it.

Wife : Fine. Now you can begin taking the plates out to the customers. Don't carry too many plates. You might drop them.

Husband : I won't drop them. I've never dropped a plate in my life! Ah ...!

**Question 1** Who is getting angry now?

**Question 2** Which is correct?

**Question 3** How did the husband help the wife?

**Question 4** What happened at the end of the conversation?

### 全訳

夫：急いでくれないか！ お客様が12人いて、皆さん本日のスペシャルをご注文だ。15分もお待ちの方もいる。怒り出してるよ。

妻：わかってる、わかってる。でも手は2つしかないの。あなたに手伝ってもらわなくちゃいけないわ。

夫：ああ、わかった。何からやればいいんだ？

妻：そうね、お皿にお肉を盛ることから始めてちょうだい。そうしたらわたしがスープを仕上げるから。



夫：了解。肉はこれで十分？

妻：ちょっと多すぎるわ。少し取ってちょうだい。

夫：ポテトは？

妻：たくさん盛りつけて。

夫：わかった。もうお客様のところへ持って行っていいのか？

妻：お豆はもう盛った？

夫：え？ ああ、まだだ。どこにある？

妻：ほら、これ。

夫：豆、足りないぞ。

妻：そっちの鍋にたくさん入ってるわ。

夫：ここ？ わかった。やったよ。

妻：ありがとう。それじゃあお客様に出し始めてかまわないわ。一度にあまりたくさんのお皿を運ばないでね。落とすかもしれないから。

夫：落としたりなんかしないよ。今まで一度だって落としたことなんかないんだから！ ああっ！

質問1 今だれが怒り始めていますか？

質問2 どれが正しいですか？

質問3 夫は妻をどう手伝いましたか？

質問4 会話の最後に何が起こりましたか？

#### 解説

**Question 1** 怒り始めているのは待たされている客。

**Question 2** A 夫は肉、ポテト、豆を盛り付けたので、この選択肢は正しい。

B 豆は足りなかったが、There's plenty in that pot over there. (そっちの鍋にたくさんあるわ。) という発言の通り、鍋にはあり、夫が盛り付けた。

C スープを作ってしまうと言ったのは妻。

D 肉を少し多く盛ってしまったのは夫。

**Question 3** 手伝うには手伝ったが、注意されたり、助言を得たりと手をわずらわせている。

**Question 4** 最後の「ああっ！」という叫びから想像できる。C「夫は豆を皿に盛り付け忘れしました。」は、会話の最後に起こったことではなく、その前の時点。





3EJS/3EJ  
中3英語  
中3東大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製